

ノロウイルス検出キットG1/G2 -高速プローブ検出 RED-

整理番号



作成 2020年6月24日

改訂 2021年4月1日

No.3140K

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ノロウイルス検出キットG1/G2 -高速プローブ検出 RED-
製品コード	FIK-297
供給者の会社名称	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	バイオプロダクト営業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途及び使用上の制限	ノロウイルス核酸検出試薬(研究用)

### 2. 危険有害性の要約

重要危険有害性	
健康有害性	通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さいが、有害性に関する調査が不十分なので、取り扱いには注意する。

#### GHS分類

物理化学的危険性	分類できない		
健康有害性		<反応液A>	<反応液B>
	急性毒性(経口)	区分外	区分外
	皮膚腐食性及び刺激性	区分3	区分外
	眼損傷性及び刺激性	区分2B	区分外
環境有害性		分類できない	

#### ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語

危険有害性情報

注意書き

安全対策(予防策)

応急措置(対応)

&lt;反応液A&gt;

-

警告

軽度の皮膚刺激

眼刺激

取り扱い後は手をよく洗う。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受ける。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断/手当てを受ける。

&lt;反応液B&gt;

該当しない

ノロウイルス検出キットG1/G2 -高速プローブ検出 RED-

整理番号



作成 2020年6月24日

改訂 2021年4月1日

No.3140K

## 安全データシート

### 3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物

混合物

化学特性

酵素、基質等の水溶液

パーツ名

主要成分

反応液A

トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン

CAS No.

(EC No.)

77-86-1

デオキシアデノシン三リン酸

1927-31-7

デオキシシチジン三リン酸

102783-51-7

デオキシグアノシン三リン酸

93919-41-6

デオキシウリジン三リン酸

102814-08-4

グリセロール

56-81-5

ジメチルスルホキシド

67-68-5

酢酸カリウム

127-08-2

ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート

9005-64-5

添加剤A

有り

DNAポリメラーゼ

(EC 2.7.7.7)

リボヌクレアーゼ阻害剤

-

塩化カリウム

7447-40-7

ウラシルDNAグリコシラーゼ

59088-21-0

デオキシリボ核酸

-

エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム

6381-92-6

反応液B

添加剤B

有り

危険有害成分

化学名又は一般名

グリセロール

添加剤A

別名

グリセリン

-

CAS番号

56-81-5

有り

官報公示整理番号 化審法

2-242

有り

安衛法

公表

公表

含まれるパーツと濃度範囲

反応液A:16%

反応液A:0.5%

化学名又は一般名

ジメチルスルホキシド

添加剤B

別名

DMSO

-

CAS番号

67-68-5

有り

官報公示整理番号 化審法

2-1553

有り

安衛法

公表

公表

含まれるパーツと濃度範囲

反応液A:5%

反応液B:0.3%



## 安全データシート

### 4. 応急措置

吸入した場合 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 大量の水と石鹸で洗う。汚染された衣類はすべて脱ぐ。皮膚刺激が生じた場合には医師の診断、手当てを受ける。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。

飲み込んだ場合 水で口の中を洗浄し、速やかに医師の診断、手当てを受ける。無理に吐かせない。

### 5. 火災時の措置

消火剤 水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤  
特有の消火方法 消火は風上側から行う。  
消火を行う者の保護 大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具、緊急時措置 眼、皮膚への接触、吸入を避ける。  
作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業しない。  
環境に対する注意事項 環境中へは直接廃棄しない。  
封じ込め及び浄化方の方法及び機材 可能な限り、砂または他の不燃性吸着剤に吸着させて空容器に回収する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い  
技術的対策 使用時は、全体換気および局所換気を行う。適切な保護具を着用して、眼、皮膚、衣服に接触しないように十分注意する。  
安全取扱い注意事項  
衛生対策 取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。  
取扱い後は十分手を洗う。  
保管  
安全な保管条件 密封容器にて-20℃±5℃で保管する。  
安全な容器包装材料 本製品に使用されている容器内で保管する。

ノロウイルス検出キットG1/G2 -高速プローブ検出 RED-

整理番号



作成 2020年6月24日

改訂 2021年4月1日

No.3140K

## 安全データシート

### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策  
許容濃度

換気システムを設ける。

日本産業衛生学会勧告値  
ACGIH TLV  
OSHA PEL

グリセロール  
(ミスト)  
未設定  
未設定

Total Dust :

15mg/m<sup>3</sup>TWA

Respirable fr. :

5mg/m<sup>3</sup>TWA

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

呼吸器保護具(有機ガス用防毒マスク、防じんマスク)を着用する。

ゴム手袋を着用する。

保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。

必要に応じて保護衣を着用する。

### 9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色)

臭い

pH

引火点

常温で液体であり、0℃以下で固体。各パーツは無色透明。

全てのパーツで臭いはほとんどない。

6.0~9.0

反応液Aは水溶液のため引火性はないと考えられるが、水分蒸発後177℃の引火点を持つグリセロールおよび、89℃の引火点をもつジメチルスルホキシドが残留する。

爆発特性

密度

溶解性

常温では爆発性はない。

データなし

水に可溶

### 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

通常の条件下では安定である。

高温、直射日光、火災などによる強熱

強酸化剤、還元剤

知見なし

ノロウイルス検出キットG1/G2 -高速プローブ検出 RED-

整理番号



作成 2020年6月24日

改訂 2021年4月1日

No.3140K

## 安全データシート

### 11. 有害性情報

急性毒性	データなし	
皮膚腐食性及び刺激性	皮膚を刺激し、炎症を起こすおそれがある。	
眼損傷性及び刺激性	眼の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こすおそれがある。	
各成分の有害性情報	グリセロール	添加剤A
急性毒性	マウス経口:4090 mg/kg	ラット経口:50mg/kg*
	ラット経口:12.6 g/kg	ラット経皮:537mg/kg*
皮膚腐食性及び刺激性	ウサギ:500 mg/24hr:Mild	知見なし
眼損傷性及び刺激性	ウサギ:500 mg/24hr:Mild	知見なし
生殖毒性	知見なし	知見なし
発癌性	評価されていない	評価されていない
		*類似物質のデータ
	ジメチルスルホキシド	添加剤B
急性毒性	マウス経口:7920mg/kg	ラット経口:3730mg/kg
	ラット経口:14500mg/kg	
皮膚腐食性及び刺激性	ウサギ:500mg/24hr:Mild	知見なし
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	ウサギ:500mg/24hr:Mild	知見なし
生殖毒性	知見なし	知見なし
発癌性	評価されていない	評価されていない

### 12. 環境影響情報

生態毒性	グリセロール	ジメチルスルホキシド
	魚類(ニジマス):LC50(96hr)	魚類(ヒメダカ):LC50(96hr)
	54g/L	33g/L
	魚類(金魚):LC50(24hr)>5g/L	
	甲殻類(オオミジンコ):	
	EC50(24hr)>10g/L	
	藻類(紅藻):EC50(28hr)4.6g/L	
残留性・分解性	グリセロールや酵素、基質等は、良分解性である。ジメチルスルホキシドは急速分解性ではない。	
生体蓄積性	生体蓄積性はないと考えられる。	
土壌中の移動性	水に対する溶解性は高いので、移動すると考えられる。	

ノロウイルス検出キットG1/G2 -高速プローブ検出 RED-

整理番号



作成 2020年6月24日

改訂 2021年4月1日

No.3140K

## 安全データシート

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理委託する。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

### 14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告の定義上の危険物に該当しない。

国内規制

輸送に関する法規制には該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

### 15. 適用法令

含有する成分には下記の法規制情報がある。

	ジメチルスルホキシド	グリセロール
化審法(特定化学物質/監視化学物質)	該当しない	該当しない
化学物質管理促進法	該当しない	該当しない
労働安全衛生法	該当しない	該当しない
毒物劇物取締法	該当しない	該当しない
消防法	危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体	危険物第4類引火性液体第3石油類水溶性液体
海洋汚染防止法	該当しない	施行令別表第1有害液体物質(Z類物質等)

### 16. その他の情報

参考文献

厚生労働省 職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。